

歴史と自然と人を繋ぐ公園を再び



蘆花記念公園再整備事業

【所管課】

環境都市部 緑政課

【事業費】

1,000万円～6億円（事業内容・整備規模により変動）
※令和9年度以降実施予定

この事業について

蘆花記念公園は、逗子市制30周年を記念して昭和59年に開園した風致公園です。
JR逗子駅から徒歩約20分、逗子海岸からも約300mという恵まれた立地にありますが、現在、公園内に立地する登録有形文化財の旧脇村邸をはじめとする5つの施設が、老朽化や法令上の課題により長年活用されないままになっています。
また、海に面した逗子市では津波避難・防災機能の強化を求める市民の声も高まっており、公園の再整備は喫緊の課題となっています。
再整備は官民連携方式による整備・運営を想定していますが、大規模な事業となるため、官民連携に加え、皆様の温かいご支援が大きな力となります。

寄附の使い道（例）

使途	内容
遊休施設の再生	登録有形文化財の旧脇村邸など老朽化施設の改修・整備
防災機能の強化	津波避難スペース・備蓄機能の整備、避難経路の整備
公園環境の向上	ユニバーサルデザイン対応、ウォークアブルな空間整備
古墳群の保存・活用	トイレ、案内サイン、散策路整備

この事業で蘆花記念公園はどう変わる？

- 公園内の遊休施設が観光・交流・防災の拠点として生まれ変わり、長年活用されていなかった旧脇村邸など登録有形文化財が新たな魅力を発信する場となります。
- 県内最大級の長柄桜山古墳群周辺の整備により、逗子の歴史文化の魅力が全国へ広がります。
- 津波避難・防災機能の充実により、海辺に暮らす市民の安心がさらに高まるとともに、民間企業や市民との連携によって、持続可能な公園運営が実現します。



あなたの寄附が、逗子の丘の上に新しい風景を生み出します